

**製品名: TNFRSF25 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82522**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	45.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TNFRSF25
別名	DR3; TR3; DDR3; LARD; APO-3; TRAMP; WSL-1; GEF720; WSL-LR; PLEKHG5; TNFRSF12
遺伝子 ID	8718.0
SwissProt ID	Q93038
免疫原	大腸菌で発現したヒト TNFRSF25 (AA: extra(25-199)) の精製組換え断片。

**背景**

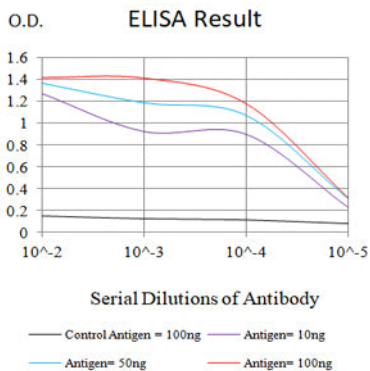
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体はリンパ球が豊富な組織で優先的に発現し、リンパ球の恒常性維持に関与している可能性があります。この受容体は NF-κB の活性を刺激し、細胞のアポ

トーシスを制御することが示されています。この受容体のシグナル伝達は、様々なドメインを含むアダプタータンパク質によって媒介されます。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子が胸腺における自己反応性 T 細胞の除去に関与していることが示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されており、そのほとんどは分泌分子である可能性があります。B 細胞および T 細胞におけるこの遺伝子の選択的スプライシングは、T 細胞の活性化時にプログラムされた変化を受け、主に全長の膜結合型アイソフォームを生成します。これは、T 細胞の活性化によって誘導されるリンパ球増殖の制御に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

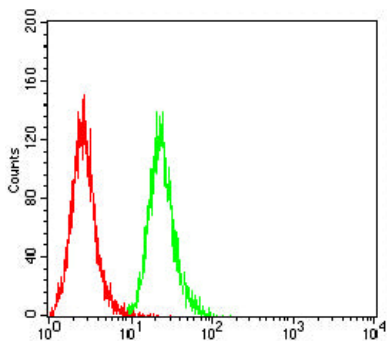
## 研究分野

アポトーシス、TGF- $\beta$  シグナル伝達経路

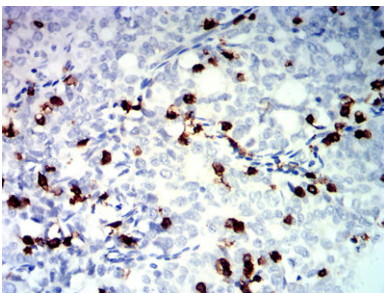
## 画像データ



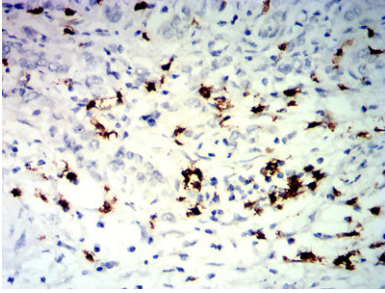
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



TNFRSF25 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。



TNFRSF25 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



TNFRSF25 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。